

津房地区まちづくり協議会だより

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

津房地区の皆様へ
まちづくり協議会の事務局は
月・火・木の週三日開いています
ご意見などお寄せ願います。

お知らせ①

リサイクル推進活動 に取り組みます

私たちの快適な暮らしは、化石燃料や資源の大量消費によって成り立っています。その営みは、環境破壊や地球温暖化を助長し、今夏の猛暑やゲリラ豪雨など、各地での異常気象を引き起こす一因になっているとの認識が広まっています。

その認識のもと、限りある資源を有効利用し、地球環境への負荷をできるだけ減らすための活動として、官民さまざまな団体が主導するリユースおよびリサイクル運動が各地で展開されています。

この運動の趣旨は、ふるさとの豊かな自然環境を護り、住みよいまちづくりをめざす当協議会の設立趣旨とも合致することから、当協議会も下記の要領でこの運動に積極的に取り組むことにしました。

これまで、安心院ライオンズクラブによる古紙、衣類の回収運動や、津房小学校関係（PTAと児童）によるアルミ缶やリユース・ビンの回収活動が実施されてきましたが、回収指定日と私用とが重なり、出せなかった場合や、もとよりリサイクル資源の発生量が多い世帯などでは、最寄り回収日までの保管が負担となる例も多いかと思われます。

そこで、随意の日時に持ち込めるよう便宜を図るとともに、回収対象を古紙（新聞、段ボール、雑誌）、スチール製を含む缶類、そして、リユースビンにまで拡げることによって補完し、有効資源の回収率向上を図ることにしました。

また、当運動での収益金を、まちづくり活動資金として活用できる副次的効果もあります。

地区住民各位のご理解、ご協力を
お願い致します。

9月5日より 受入開始します

リサイクル運動の実施要領

回収対象

古紙類

- ① 新聞紙・折り込み広告
- ② 雑誌・書籍
- ③ ダンボール・厚紙等の紙類

金属資源

- ④ アルミ缶
- ⑤ スチール缶

ビン類

- ⑥ ビールビン
- ⑦ 一升ビン（但し、薄茶色の色つきのみ）

回収方法



○ 別記の場所へ随時持ち込みして頂くようお願いいたします。

○ 自動車をお持ちでない方や高齢の方は、近隣の方が持ち込みされる際に便乗、または、委託されるようお願いいたします。

○ そのほか、年間4回ほどの集中回収日を設定、その都度全戸配付の案内ビラでお知らせしますので、その折に事務局へ電話連絡して頂けると対応します。

○ 古紙は①～③の区分ごと、5Kg程度に小分けし、十文字ヒモ掛けの荷姿でお願いいたします。

○ 缶類はアルミ、スチールに仕分け、内部を粗掃除してビニール袋にお入れ下さい。

○ ビン類も内部を粗掃除して腐敗臭などせぬよう、ビニール袋にお入れ下さい。



【ご注意！】
衣類や複雑金属類は対象外です。

回収(保管)場所

津房地区公民館の北側に隣接した津房農協跡地内・旧加工場をJAさんより借用し、回収・保管場所にします。

同加工場は左右二部屋に分かれています。向かって右側を古紙類、左側を缶類とビン類に大区分し、小区分は現場の貼り紙でご案内しております。

入口の戸は施錠せず、常時開放していただきますので、「随意の時間に持ち込み可です。」



事業紹介

高齢者世帯サポート制度・検討委員会

全国的に高齢化、少子化、核家族化が進展するなか、我が津房郷はその典型的な地区となっています。

昔なじみの近隣の高齢者世帯を健康者がサポートしたり、住民間が支え合う何らかの新しい制度を導入し、地区住民のあんしん生活や、住み心地向上に繋がりたいとの趣旨で、あんしん生活部会の今期取組事業として、「高齢者世帯（特に独居の）サポート制度の導入」に関する検討委員会を設置し、協議を開始しました。

自治委員代表、当部会員から成る計10人のメンバーで構成、7月中旬を初回とし、以後月一回のペースで委員会を開催しています。

来年三月末を目前に、導入可能な制度案をまとめ、来期からの実践をめざしています。

今後の検討を進める中で、住民各位のご意見やご希望を伺うことがありますので、その際にはご協力宜しくお願い致します。

お知らせ②

津房温泉・敬老の日サービス



9月16日（月）は敬老の日です。「多年にわたり社会につくしてきた先輩を敬愛し、長寿を祝う」ことを趣旨としていますが、津房温泉では、日頃のご利用に対する感謝の意味も加え、昨年同様、当日ご利用の70才以上の先着100名の方を対象に、ささやかな紅白饅頭のプレゼントサービスを行います。

津房温泉の
更なるご利用を！



地区公民館
↓

回収・保管場所